



KSKQ どかどか No.300 ぽぽんがぽん news

えがお 笑顔あふれ つながりあえる社会へ ～ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために～

44回 サマーキャンプin琵琶湖(和邇浜)

9月7日、茨木しょう会の第44回サマーキャンプで琵琶湖和邇浜に行ってきました。

このサマーキャンプには歴史があります。
主催団体である茨木しょう会とは「障害」があっても地域の学校で共に学ぶことを求めた親たちの運動として1980年にできた会です。
その取り組みの流れに「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」ができ、現在のぽぽんがぽんにつながっています。そのような歴史のある茨木しょう会の歩みと共にサマーキャンプがあります。

この間はコロナもあって開催できず、今回は熱中症警戒アラート発令により中止となっていました。今回は時期を少しずらして、快晴のなか開催することができました。



バスのなかでのカラオケ大会、毎回お世話になってきた千鳥荘で定番のカレーライスを食べ、琵琶湖で泳いだり、レクリエーションをしたり、スイカも食べました。

参加されたみなさん、それぞれ楽しんでいただけたことと思います。
当日ボランティアで協力してくれた
佛教大学の学生の方々、当初からの

関係者の方々、ほくせつ24からも多数ボランティア協力をいただきました。みなさんのおかげで、無事、事故なく帰ってくることでできてほっとしています。
当初若者であったばかりを、中心メンバーも年を重ね、サマーキャンプは今回をもってファイナルとさせていただきます。

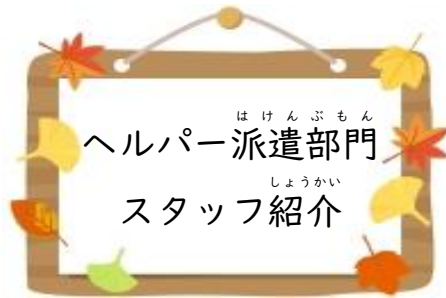
茨木しょう会サマーキャンプ報告

今月の内容
・ヘルパー派遣スタッフ紹介／行動援護養成研修報告
・総決起集会とデモ行進の報告／寄付金等のお礼
・玉櫛祭りに行ってきました！

・ぽかぽかカレンダー案内／後援会より学習会案内
・編集後記

今後の取り組みについては、また茨木しょう会で考えていくことになります。
第1回からこれまで茨木しょう会サマーキャンプに参加して下さった多くの方々に感謝！

(サマーキャンプ実行委員長 太田吾郎)



今回自己紹介させて頂くヘルパー派遣部門の豊峰です。
ぼぽんがぼんでは20年程働かせて頂いています。

介護(福祉)の仕事ですが正直たいへんで難しいっての本音であります。本人さんたちの生活一部の手伝いができるのは、他の仕事ではなかなか味わえないやりがいがある仕事だと感じています。

介護(福祉)の不満としては制度がまだまだ不十分であったり、当事者への周囲の理解が一定あると断片的な理解程度で関わり方や支援の仕方などの知識が圧倒的に不足している事を実感しています。

例えば高齢者や車椅子の方が困っているならある程度の支援やお声掛けは分かりますが、所謂知的障がいのある方が困っていても、どうしていいかわからないひとがおおぜいいるのが現状で国や地域が福祉に力を入れているように感じています。



当事者への理解も然る事乍ら支援者への理解も乏しいと感じています。

理解がない周囲が支援者に求めるのは所謂『教育者』や『指導者』といったもので、本来の支援者は本人さんたちの生活を支え、苦手なところを手伝う事で本人さんが『自分らしく』生きていくための存在だということを理解していない方が多いのは非常に残念だと感じています。

理解がない一つの理由としては『支援』という言葉が何をしたいか理解がない人にとって不透明である事だと考えています。

普段日常で目に触れる仕事だとイメージはしやすいですが『支援』とい

うのはなかなかイメージしにくさもあります。

友だちに同様の事を聞いてどんな事をするのかの理解やイメージはありませんでした。

また世間では介護を受ける人にマイナスのイメージがあり特に他人に介護をして欲しくない、させたくないと思われている方もいます。

介護とは少し違うかも知れませんが所謂健康者とか言われる人も日常や仕事などで当たり前のように誰かに手伝ってもらって日々生活しています。そこに制度や介護、支援者といった言葉はありませんが他人の力を借りて生活しているのは紛れもない事実かと考えています。

先述述べた『介護』という言葉ですが、人間は言葉で区別や差別する悪いところがあり介護をマイナスなイメージで捉えている方もいたり、個人的には制度的な言葉の区切りで使われていると思われる『障がい者』とそれに対比するような『健康者』という言葉ですが、後者の健康者ですが常に健やかな者の意味はありますが、反対に障がいのある方は健やかではないのかやそもそも常に健やかな人はいないと思われたりと、この『障がい者』『健康者』と言葉自体が差別的で個人的には『健康者ってなんやねん』と感じています。『人間』を障がいの有無で隔てる言葉があるから理解に欠けているのではと感じます。

仕事以外でのお話になりますと、動画(主に台本(物語)を作った劇場を作成したりして動画投稿をしています。ジャンルとしては「日常系(?)」の動画が中心になります。

趣味としては「ボードゲーム」で遊んでいて同じヘルパー派遣部門内でも遊んだ事がありますが、普段の親睦とは異なったコミュニケーションになったり、ゲームを通じてその人柄を知ることができたりと楽しく



あそんで
遊んでいます。

ビデオゲームとは違い顔を付き合わせる事でのその場の
空気や雰囲気は、ビデオゲームでは味わえないボードゲ
ームならではの楽しみもあります。

可能であれば他部門との交流やコミュニケーションの
一環としても遊べたらと考えたりもしています。

(豊峰敬浩)



ぽぽんがぽん初！行動援護養成研修を開講しました！

2024年6月に「行動援護従業者養成研修」をぽぽんがぽんで初めて開講しました。

この講座は「行動援護」というサービスを提供するための資格を取得できる講座です。

現在、茨木市では「行動援護」サービスはほとんど利用
されていません。しかし、今後「行動援護」のサービ
スが広がっていく可能性があります。「行動援護」サ
ービスが拡大され、「行動援護」サービスに対応でき
る支援者が増えることによって、行動障がいのある
方々がより安全安心で豊かな社会生活を送れるよう
になることが期待されています。

これを受け、ぽぽんがぽんでは「行動援護従業者
養成研修」を実施する決意をし、2024年6月、無事に第1回目の開講が実現しました。

社会福祉法人創思苑、自閉症eサービスの方々を外講師としてお招きし、講義・演習と実施しました。現在
ぽぽんがぽんで働いている方を中心に計12名の受講生が無事に修了式を迎えました。講義、演習共に事例
検討や支援方法の検討等を学び、新たな発見もあり、普段行っている支援についてもより深めるヒントを得る
ことができました。この講座を経て、茨木市でも「行動援護」サービスを広げ、より豊かな社会生活を実現し
ていくきっかけになればと思っています。

「行動援護従業者養成研修」を開講して感じたことは、すでに支援者として従事している方のスキルアップ
要素が強いということです。なので、ぽぽんがぽんではこの講座と同時に、まだ障がいのある方々と出会った
ことがない学生さんや一般の方を主な対象とした「知的障がい者移動支援従業者養成研修(ガイドヘルパ
ー講座)」を開講していきたいと考えています。

新たな仲間(支援者)を増やすこと、すでに仲間(支援者)となった人たちもどんどん成長していくことを
目指し、今後も行動援護、知的ガイド講座を開講していきたいと考えています。
受講頂いた皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。(福井加奈)





「大阪府交渉に向けた総決起集会」と「オールラウンド交渉」の報告

①総決起集会の感想

①まずは決起集会の時間が長いと思った。
 ②デモ行進は楽しくできましたが、集団で行ったので暑かったと思いました。来年は7月12日あるけどぼかどかぼんの全員で参加したいと思います。
 オールラウンド交渉の感想は1部13:00~16:50まで大阪府との交渉をききました。
 大阪府との差別解消法の話を書きましたが難しかったです。グループホームのことで、大阪府とのバトルが永遠続きました。特に西尾さんと古田さんとの2人が大阪府とのバチバチになっていた。交通と街づくりとの交渉ですが、前の人が大阪府とのバチバチの状態で行っていました。オールラウンド交渉の続きですが、関西万博丸ごとバリアフリー化にする。やりとりで、大阪府とのバチバチ感がものすごかったです。(ピープルファースト担当 鎮山伸吾)



今回初めてヘルパーとして参加させていただきました。
 デモ行進も、北摂ブロックではなく、初の先頭集団でしたが、ピープル・ファーストの他事業所のメンバーさんとも交流しながら、楽しく歩かせてもらいました。
 曇り空で風もあり、心配していたほどの気温にはならず良かったです。
 壇上でシュプレヒコールのロープレをされていた鎮山さん、頼もしかったです。

グループホーム (住宅)、権利の実現、交通・まちづくり、教育のテーマでの交渉に参加しました。
 当事者さんからの生の声を届ける、よい機会だと感じました。少しでも多くの意見が生活に反映されますように。。。 (ヘルパー派遣部門 加登めぐみ)

障大連の大阪府交渉に向けた総決起集会・デモ行進とオールラウンド交渉に、当事者活動として参加してきました。
 総決起集会・デモ行進は、7月16日(水)大阪市立中央



区民センターで行われ、今回は来場制限がなく、会場には400名が集まり、古田議長から要求概要の説明をされ、各担当から交渉の課題説明があり、各団体から決意表明のアピールがありました。それからピープルファーストの方が中心にシュプレヒコールを行いました。ステージには鎮山さんも上がり、手を挙げて力強く訴えていました。

デモ行進では450名が集まり、大阪市立中央区民センターから大阪城公園まで、シュプレヒコールをマイクで訴えながら行進しました。ピープルファーストの方が先頭で、その中に鎮山さんも暑い中、シュプレヒコールを繰り返しながら訴え、がんばっていました。

オールラウンド交渉は8月7日(水)、16日(金)の2日間があり、そのうちの2日目の方に参加しました。

「グループホーム」「交通・まちづくり」「教育・保育」順で大阪府との交渉がありました。「グループホーム」で住宅確保については、ぼぼんがぼんもグループホームがあり、とても大事なところでした。会場は異様な熱気があり迫力がありました。

(地域連携社会参加促進事業 六條友聡)



ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございます！

2024年7月20日～2024年9月16日まで(順不同)

郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は上記期間に限らず掲載させていただきます。ご了承ください。



社会福祉法人ぼぼんがぼんへのご寄付ありがとうございました

小野寺様 萩原様 高原様 井上様 長島様 匿名の皆様

つながりの会ぼぼんがぼん(後援会)へのご寄付ありがとうございました

村上様 匿名の皆様

【募金箱】 坂本様 パン工房シャルドン様

アルミ缶・牛乳パックのご提供ありがとうございました

【アルミ缶】舟橋様 浅野様 古川様 ハシオダニ様 藤本様 竹内様

林様 GHピース様 作業所等へ持ってきてくださった皆様

【牛乳パック】萬谷様 ハシオダニ様 小川様 GHピース様

GH多歌多架様 関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様

作業所等へ持ってきて下さった皆様

ご寄付をご希望いただける方は

こちらまでお願いします

<払込取扱票をご利用される場合>

口座記号番号：00930-0-212299

口座名称：社会福祉法人ぼぼんがぼん

<口座振込をご利用される場合>

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900 店番：099

店名：〇九九(セキウキウ)

預金種目：当座

口座番号：0212299

口座名称

(漢字)：社会福祉法人ぼぼんがぼん

(カナ)：フク ポボンガボン



祭 たまくしまつり いって 玉櫛祭りに行ってきました！ 祭

8/24(土)にグループホームピースの数名が、
「玉櫛祭り」に行ってきました！毎年恒例です。
近所の玉櫛小学校で開催されていて、出店や
抽選会、盆踊りなどがあり、たくさんの人でにぎわ
っていました。ガラガラ抽選会でお菓子をもらっ
たり、出店を回ってかき氷を食べたり、くじ引きして
景品をもらったり、みなさん楽しめました。



その後お待ちかねの盆踊りが始めると、とっ
ても楽しそうに手を叩いて、声を出して踊ってお
られました。もう！人の方も、大興奮でノリノリで
踊っておられました♪

暑かったのも、帰宅後お疲れ気味の方もい
らっしゃいましたが、楽しい夏の思い出になりま
した！



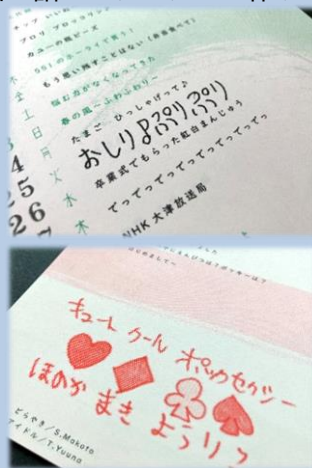
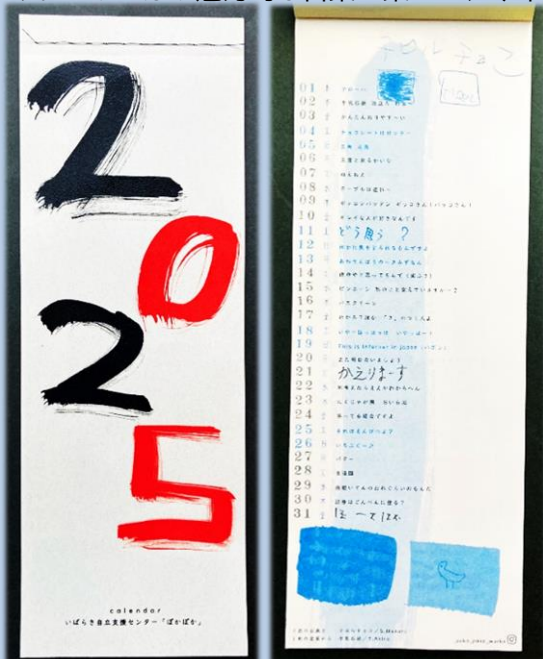
いばらき自立支援センター「ぽかぽか」「どかどか」 2025年カレンダー 販売中！

ぽかぽか・どかどかで聞こえてくる色々な言葉。

油断していると聞き流してしまいそうな言葉にも、その人の大切な思いが表現されています。

毎日聞いていても本当の意味はわからないことが多い、

けれどやっぱり魅力的な言葉を集めて、今年も一日一語のカレンダーを作りました。



約13cm×36cm（タテ型）
1月～12月

1,000円（税込）

ご注文

※**限定70本**です。ご注文はお早めにご検討ください☆

※ご注文、お問い合わせはぽかぽか（TEL:072-635-5762 FAX:072-635-5763）

までお願いいたします。

※郵送の場合、送料（定形外郵便350円～）・振込手数料はお客様負担となります。

社会福祉法人ぽぽんがぽん後援会

「つながりの会 ぽぽんがぽん」

思います。又、障がいのある方が地域で暮らす「グループホームマンションの使用」についても少しお話をして頂ければと思っています。皆様のご参加お待ちしております。（村上和子）

猛暑続きの日々でしたが、秋の気配も感じるこの頃です。昨年開催しました学習会の感想に「もっと知りたい」「又、開いてほしい」との要望が多くあり、今年も引き続き、東奈央弁護士に来ていただき、「成年後見制度」について学習したいと

11月28日（木）学習会「成年後見制度について」パートⅡ

（茨木しょう会との共催）

ハートフル 4階大会議室 13:30～15:30

申込み期日：～11月18日（月）まで

問合せ先：072-623-9202（ぽぽんがぽん：水野・太田）



編集後記

最近ではめずらしく、ぐるぐる思考にとらわれていることを自覚している今日この頃。

ぐるぐる思考(反芻思考)の止め方をネットで検索するといろいろと出てくるが、もしかすると問題解決のために必要なぐるぐる思考の側面があるのかもしれない。

まあ睡眠もとれて食欲もあるので、自身のメンタルを心配するほどのものではないが。

情報がないもどかしさ。時間がない焦燥感。体力・余力がないふがいなさ。

さて、長く続いた残暑も今週までのよう。

これを書いている今日は中秋の名月らしい。

今日は月でも見上げてみようか。



おたごろう
(太田吾郎)

● 法人本部、ヘルパー派遣、グループホーム窓口、相談支援

〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Fax 共通 072-623-9203

法人本部 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)

グループホーム窓口 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)

ヘルパー派遣 Tel 072-623-9205 (9:00~18:00)

相談支援 Tel 072-623-9210 (9:00~17:00)

<https://popongapon.com/>



● いばらき自立支援センター「ぼかぼか」(8:30~17:30)

〒567-0850 茨木市真砂玉島台 8-20 Tel 072-635-5762 Fax 072-635-5763

● いばらき自立支援センター「どかどか」(8:30~17:30)

〒567-0842 茨木市五十鈴町 7-29-1FS Tel 072-637-6882 Fax 072-637-6883

● 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす (10:00~19:00)

〒567-0842 茨木市片桐町 4-7 Tel 080-2467-5566

● ユースプラザ center エント (10:00~19:00)

〒567-0882 大阪府茨木市元町 4-7 ローズ WAM2 階 事務室 Tel 080-1521-4624



編集人:「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」(社会福祉法人ぽぽんがぽん)

Tel(072)623-9202(お問い合わせはこちらまで)

〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F

発行人:関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2-東興ビル 4F 定価:50円

UD FONT

み
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

